

観光立国の実現は地方から

各都道府県のPRに活躍する ご当地キャラクター達

 <p>広島 00年国民文化祭、それ以後は「けんみん文化祭ひろしま」のマスコットとして親しまれる。名産の力キと美しい紅葉がモチーフ。</p> <p>ブンカッキー</p>	 <p>奈良 今年1年開催される「平城遷都1300年祭」の公式マスコットキャラクターとして08年に誕生。奈良の人に親しまれている鹿の角をたくわえた童子。特徴的な姿で注目を集める。</p> <p>せんとくん</p>	 <p>石川 能登半島の形をイメージし、08年に「のと」のマスコットとして誕生。好物は能登弁。名前には「とんとん来てほしい」という思いももっている。</p> <p>のとドン</p>	 <p>茨城 07年ねりんピックのマスコットとして05年に制定、08年の国民文化祭でも活躍。水戸黄門をイメージ。3月開港の茨城空港のPRも行う。</p> <p>ハッスル黄門</p>	<p>全国各地で活躍しているご当地キャラクターたち。彼らはそれぞれの地域の特産品や特色を一身に背負い、日々さまざまな場面に登場して地域の知名度アップのために活動している。区市町村単位、地域単位などさまざまなおご当地キャラクターがいるなか、各都道府県の観光担当課に、県のPRに活躍しているキャラクターもいくつかは今年以降活躍が期待されるキャラクターとその来歴、活動内容を聞いた。</p>
 <p>山口 09年6月から今年9月の「いづるるん」山口県内周遊観光キャンペーンのマスコット。県名産の夏みかんをイメージしている。</p> <p>くるる、るる、るるん</p>	 <p>兵庫 03年、国体・障スポ大会のマスコットとして誕生。震災からの復興イメージを「不死鳥・フェニックス」に重ねた。09年の兵庫RCのPRにも活躍。</p> <p>はばタン</p>	 <p>長野 10、12月の信州RCのキャラクターとして昨年誕生。クマなのに寒がり。信州をクマな歩き回り、魅力を活かしてなく広めるのが生きがい。</p> <p>アルクマ</p>	 <p>栃木 「県民の日のキャラクター」として1986年に制定。県の鳥、オオルリがモデル。近年は県のPRにも活躍。好物は栃木名物のいちご。かんぴょう巻き。</p> <p>ルリちゃん</p>	<p>北海道 06年、観光ホスピタリティ運動のために制定。キャラクター「おみやげ」に、笑顔と手を合わせた「おみやげ」をPRする。北海道の形をイメージしている。</p> <p>ホスピィ</p>
 <p>佐賀 ファミリリシリーズを推進する佐賀の観光キャラクターとして、05年から採用。アイデアブックなどさまざまなスポットを紹介する。</p> <p>ファミリリ</p>	 <p>香川 1977年に生まれた古株「青い四国」のキャラクターとして四国を走っていたころの「県民性」の親切を、浜田広助の「赤い糸」の親切な青鬼に重ね設定した。</p> <p>親切的な青鬼さん</p>	 <p>岐阜 頭は豊かな山、体はたけのこの川、足は海を表している。祖先はオオサンショウウオ。今年開催の全国海つくり大会も長良川大会のPR活動を行う。</p> <p>ヤマリン</p>	 <p>群馬 94年のゆめあひっぴく群馬大会のマスコットとして誕生。名前は「ゆめまちゃん」だったが、08年の「ぐんまちゃん」に改称。</p> <p>ぐんまちゃん</p>	<p>青森 06年2月に「安心・安全」「おいしい青森産品をアピールするべく誕生。相模原・青森のイメージを重ね合わせた。口づけは、決め手に、青森県産」。</p> <p>決め手くん</p>
 <p>長崎 大河ドラマ「龍馬伝」放映に合わせ、観光PRのシンボルとして、09年に誕生。好きな食べ物も物のトルコライス。</p> <p>ながさき龍馬くん</p>	 <p>徳島 特産のすだちをモデルに93年に誕生。07年の国民文化祭も活躍した。県産農産物や県のPRに奔走して活躍。</p> <p>すだちくん</p>	 <p>静岡 03年の国体のマスコットとして生まれた県のイメージキャラクター。09年国体でも活躍。身長、体重、足の大きさと、富士山の高さ「3776」に由来がある。特技は「ロタン」体操。</p> <p>ふじっぴー</p>	 <p>千葉 今年開催のゆめ半島千葉国体、障スポ大会のマスコット。同県の形をした千葉県に住む不思議な生き物の「未知の物に出会う」と、勇気と情熱で体が赤く輝く。</p> <p>チーバくん</p>	<p>秋田 07年の「秋田わか杉国体・わか杉大会」のマスコットキャラクター。07年11月に秋田県職員に任命。08年に、主任に昇進し、県のPR活動などを行っている。</p> <p>スギッチ</p>
 <p>大分 08年の国体・障スポ大会のキャラクターとして誕生。モチーフは県鳥・メジロ。08年12月からは「大分県応援団」の鳥「メジロ」として、体重は特産のカボス「200・8個分」。</p> <p>めじろん</p>	 <p>高知 同県出身の岩崎弥太郎、坂本龍馬らモデルにした。高知をモデルにした。高知をモデルにした。高知をモデルにした。</p> <p>アイちゃん・トモくん</p>	 <p>愛知 同県の観光DVDのナビゲーターとして誕生。05年に誕生。からくり人形をモチーフにしている。観光展などでアイキャッチとして登場することもある。</p> <p>コバトン</p>	<p>埼玉 県鳥・シラコバトをモデルに06年誕生。05年からは県のマスコットとして活躍。県内のゆるキャラによる「ゆる玉」応援団の団長としても県をPRする。</p> <p>コバトン</p>	<p>岩手 09年の「いわて・平泉観光キャンペーン」のキャラクター「わんこぎょうだいの」1人。同県で人をとまごう「わんこぎょうだいの」を生産日本一の漆を使った漆器に盛り付けた。</p> <p>そばっち</p>
 <p>熊本 「健やか生活習慣くまもと」県民運動のキャラクターとして08年に誕生。阿蘇山がモチーフ。2011年のねんりんピック（ふれ愛くまもと）のマスコットにも活躍する。</p> <p>ASO坊健太くん</p>	 <p>鳥取 97年の夢みな博覧会のマスコットとして誕生。以後県のマスコットとしてPR活動に奔走。特産のナシをモチーフにしている。</p> <p>トリピー</p>	 <p>滋賀 08年のアソビのマスコットとして誕生した。琵琶湖にちなむピッコオオナマスがモデル。09年からは県のイメージキャラクターとしてPR活動を行っている。</p> <p>キャフィー</p>	<p>山梨 観光キャンペーンや武者祭の「信玄公祭り」などで同県のPRを行うキャラクターとして09年に誕生。甲斐犬の子犬がモデル。</p> <p>武田菱丸</p>	<p>山形 「おいしい山形のシンボルマーク」として01年に決定。口は同県を流れる最上川と豊かな自然農産物をイメージ。03、04年の観光キャンペーンでも活躍。</p> <p>おいしい山形 ペロリン</p>
 <p>宮崎 8月15日の全国高等学校総合文化祭のマスコットとして08年に誕生。宮崎の工芸品「ハニア」がモチーフ。PRのためさまざまなイベントに出演している。</p> <p>ハニア</p>	 <p>岡山 05年の国体・障スポ大会のマスコットとして誕生。同県のヒーロー「桃太郎」をアレンジ。06年に同県のマスコットとして正式に任命を交付された。黄色で「晴れの国岡山」をイメージ。</p> <p>岡山県マスコット ももっち</p>	 <p>京都 2011年の国民文化祭のマスコットとして09年に決定。まゆをモチーフに、西陣織や京友禅の和のいであちで、京都の文化をPR。推定年齢7歳。</p> <p>まゆまる</p>	<p>新潟 同県が今年展開する日本スキー発祥100周年プロジェクト「新潟のスキー」のキャラクター。現・上越市で国内初のスキー指導をしたオーストリアのレルヒ少佐をイメージしている。</p> <p>レルヒさん</p>	<p>宮城 08年に仙台・宮城DCのシンボルとして誕生。米「ひとめぼれ」など同県の豊かな食と文化を「おにぎり」で表現。県産PRキャラクターとして活躍中。</p> <p>むすび丸</p>
 <p>鹿児島 2011年3月5日開催の全国都市緑化大会「しまふア」のマスコットキャラクター。地元特産の黒豚に、西郷隆盛のたいまゆもモチーフのイメージをかき合わせた。</p> <p>ぐりぶー</p>	 <p>島根 神話の世界からやってきた「みことくん」は、08年に誕生。神々の集まる国・出雲から設定した。</p> <p>みことくん・まがたまちゃん</p>	 <p>和歌山 03年に「紀州・山田」のマスコットとして誕生。2011年の全国植樹祭のシンボルキャラクターも務めるなど、県の森づくし全般のPR活動を行う。</p> <p>キノピー</p>	<p>富山 スボレタをま2010のマスコットとして08年に誕生。身長は県を代表する山「立山」の1000分の1の高さ。頭は立山をイメージしている。</p> <p>きとぎと君</p>	<p>福島 県の鳥「キタキ」をモチーフとした95年のふくしまのPRマスコット。米「ひとめぼれ」など同県の豊かな食と文化を「おにぎり」で表現。県産PRキャラクターとして活躍中。</p> <p>キビタン</p>